学校番号	３１３

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等	図説現代高等保健　改訂版（大修館書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、健康の考え方、生活行動について学ぼう。

また、日常生活で直面することが考えられる健康課題や、実際に起こっている健康時事問題に興味を持ち、将来にわたって自分自身が健康な生活を送ることができるように努力しよう。

２　学習の到達目標

学習を通し、健康の考え方の変化について学び、生活習慣病や感染症、さらに薬物乱用、心の問題、交通安全など現代の健康問題とその対策について学ぶ。そして身近な問題にも関心を寄せ、健康的な生活行動とはどのようなことか理解できるようにする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観点の趣旨	健康な生活を送るために、自分自身の健康を適切に管理し、環境を改善していくことが重要であることを理解させ、関心を持たせ、健康、安全課題に意欲的に取り組ませる。	生涯にわたり健康で安全な生活が送ることができるように、知識を得て課題をみつける。学習活動を通して総合的に考え、判断し、今から実践していけるようにする。	生涯にわたり健康で安全な生活が送ることができるように、基本的な事項を理解し、健康や安全課題の知識を身につける。
評価方法	課題プリントの提出、点検 ディスカッションを用いた活動 ノート点検 実習	定期テスト ディスカッションを用いた活動 ノート点検 実習	定期テスト ディスカッションを用いた活動 ノート点検 実習

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期	現代社会と健康	1. 交通事故の現状と要因 2. 交通事故における運転者の資質と責任 3. 安全な交通社会づくり 4. 私たちの健康のすがた 5. 健康のとらえ方 6. 健康と意志決定・行動選択 7. 健康に関する環境づくり 8. 生活習慣病とその予防 9. 食事と健康 10. 運動と健康 11. 休養・睡眠と健康	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a 交通事故について学び、加害者にも被害者にもなりうることを理解し、安全に運転する態度を身につける a 健康について学び、自分や社会の課題について理解を深めようとする b 生活習慣病について理解すると同時に、規則正しい生活習慣について考えることができる c 交通事故の現状とその対策について理解できている c 生涯を通じての健康・安全のために、個人でできることや社会で取り組むべきことについて理解できている	定期考査 提出物 授業態度 ディスカッション
後期	現代社会と健康	1. 喫煙と健康 2. 飲酒と健康 3. 薬物乱用と健康 4. 現代の感染症 5. 感染症の予防 6. 性感染症・エイズとその予防 7. 欲求と適応機制 8. 心身の相関とストレス 9. ストレスへの対処 10. 心の健康と自己実現 11. 応急手当の意義とその基本 12. 心肺蘇生法 13. 日常的な応急手当	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a 自身の健康を守るために大切なことは何かということを学ぼうとする b 感染症について理解し、予防や対策について学び実践できる b 心身相関の仕組みや心の健康について理解し、ストレスへの対処法について考える c 喫煙や飲酒、薬物の危険性や生活習慣病との関連などについて理解できている c 応急処置の基本を学び、心肺蘇生法について実習を通じ、実践できる	定期考査 提出物 授業態度 ディスカッション 実習

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断　　c:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。